

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 26日

神奈川県知事 殿

提出者

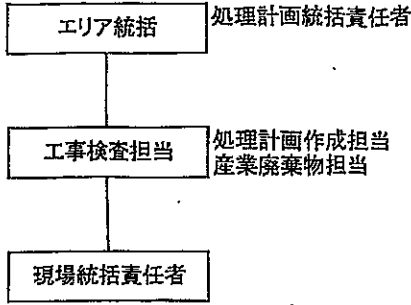
住所 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-5  
住友不動産新横浜ビル3階  
氏名 住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部  
戸建て神奈川エリア 統括 南澤 博  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 045-473-7673

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 戸建て 神奈川エリア		自主管理番号 ( 2750 )																																								
事業場の所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル3階		TEL(連絡先): 045-473-7673																																								
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)																																										
当該事業場に関する事項																																											
① 事業の種類	D-建設業 (具体的には) まるごとリフォーム(増・改築工事)																																										
② 事業の規模  ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円																																								
	建設業	エリア内元請完成工事高	5700 百万円																																								
	医療機関	病床数	床																																								
	その他の業種	売上高	百万円																																								
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)																																											
③ 従業員数	57																																										
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程  ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	解体工事の発生材はすべて契約処分業者に委託する。 <table border="0"> <tr> <td>○廃プラ</td> <td>→</td> <td>圧縮</td> <td>→</td> <td>原料化</td> </tr> <tr> <td>○紙くず</td> <td>→</td> <td>破砕</td> <td>→</td> <td>原料化</td> </tr> <tr> <td>○木くず</td> <td>→</td> <td>破砕</td> <td>→</td> <td>原料化</td> </tr> <tr> <td>○繊維くず</td> <td>→</td> <td>破砕</td> <td>→</td> <td>原料化</td> </tr> <tr> <td>○金属くず</td> <td>→</td> <td>破砕</td> <td>→</td> <td>原料化</td> </tr> <tr> <td>○ガラス・コンクリート・陶磁器くず</td> <td>→</td> <td>破砕・圧縮</td> <td>→</td> <td>再資源化</td> </tr> <tr> <td>○がれき類</td> <td>→</td> <td>破砕</td> <td>→</td> <td>再生砕石</td> </tr> <tr> <td>○混合廃棄物その他</td> <td>→</td> <td>焼却</td> <td>→</td> <td>管理型埋め立て</td> </tr> </table>			○廃プラ	→	圧縮	→	原料化	○紙くず	→	破砕	→	原料化	○木くず	→	破砕	→	原料化	○繊維くず	→	破砕	→	原料化	○金属くず	→	破砕	→	原料化	○ガラス・コンクリート・陶磁器くず	→	破砕・圧縮	→	再資源化	○がれき類	→	破砕	→	再生砕石	○混合廃棄物その他	→	焼却	→	管理型埋め立て
○廃プラ	→	圧縮	→	原料化																																							
○紙くず	→	破砕	→	原料化																																							
○木くず	→	破砕	→	原料化																																							
○繊維くず	→	破砕	→	原料化																																							
○金属くず	→	破砕	→	原料化																																							
○ガラス・コンクリート・陶磁器くず	→	破砕・圧縮	→	再資源化																																							
○がれき類	→	破砕	→	再生砕石																																							
○混合廃棄物その他	→	焼却	→	管理型埋め立て																																							

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類数	8 種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
	① 排出量	2,236.0 t	
	(これまでに実施した取組)		
	梱包材を減らす。不要な材料を搬入させず、また使用させない事により廃棄物を出させないようにする。		
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	産業廃棄物の種類数	8 種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
	① 排出量	2,012.5 t	
	(今後実施する予定の取組)		
	本事業はリフォーム工事の為、解体工事を極力抑え重ね張りを推奨する。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
① 現状	①廃プラ類②紙くず③木くず④繊維くず⑤金属くず⑥ガラス・コンクリ・陶磁器くず⑦がれき類
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0	t * 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)		t * 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	0	t * 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)		t * 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
② 計画	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	0	t * 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)		t * 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		
	特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	2,236.0	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	232.2	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	620.2	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	31.6	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	330.8	t
	(これまでに実施した取組)		
	委託基準を遵守出来る業者を選定しており、定期的に処理状況の現地確認を行っている。		

② 計画	【(令和5年度)目標】	
	⑩ 全処理委託量	2,012.5 t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	209.4 t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	525.3 t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	27.2 t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	323.7 t
	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。	
	(今後実施する予定の取組)	
	電子マニフェストを導入しており、対応可能な処理業者であるとともに優良認定処理業者から選定している。委託処理業者に対しては、引き続き定期的に処理状況の現地確認を行う。	
※ 事務処理欄		

備考

- 1 この様式は、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。  
また、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。





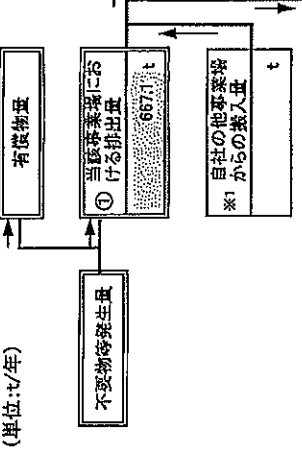


産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

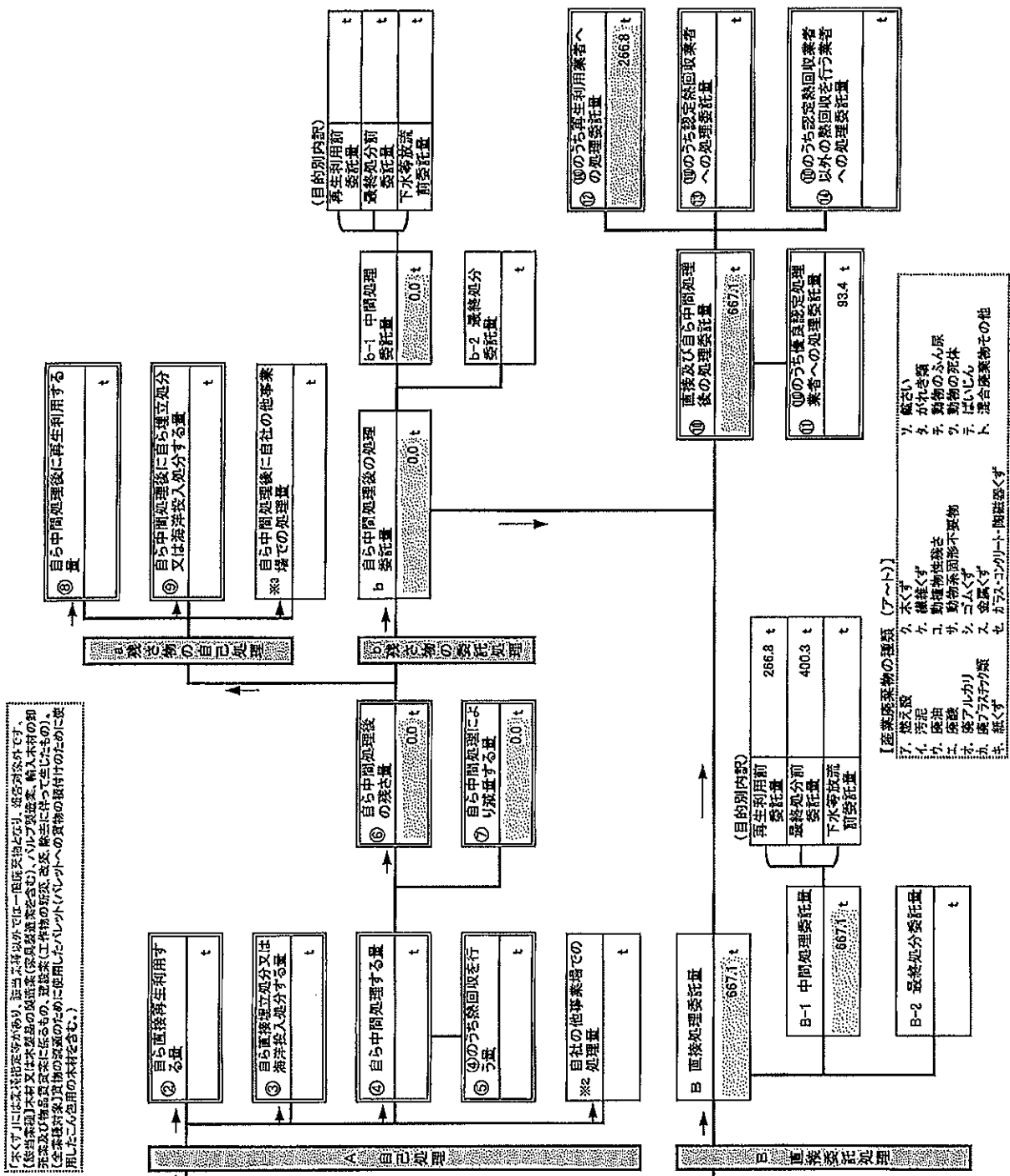
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類 ク、木くず  
 ※ 本用紙は処理計画の概要にとり扱いの図表となります。異なる処理物の処理フローは別シートに添付してあります。  
 (単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載していただき、下の表には、令和4年度実績を記載していただき、なお、様式3をお合わせて提出する場合は、別紙様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	741.2 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は焼却処分を行った量	741.2 t
⑨ 全処理委託量	103.8 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	333.5 t
⑪ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃え殻
  - イ 灰泥
  - ロ 汚泥
  - ハ 廃油
  - ニ 廃酸
  - ホ アルカリ
  - ヘ 溶剤
  - ト 漆
  - チ 木くず
  - リ 繊維くず
  - ニ 動物性残渣
  - ホ 動物糞尿
  - セ 廃プラスチック類
  - ソ 金属くず
  - タ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
  - チ 磁石
  - リ がれき類
  - タ 動物のふん尿
  - ニ 動物の死体
  - ホ はいじん
  - ト 混合廃棄物その他

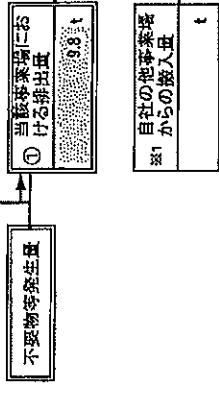
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類 ケ、繊維くず  
 ※ 本用紙は産業廃棄物の別紙ごとの1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

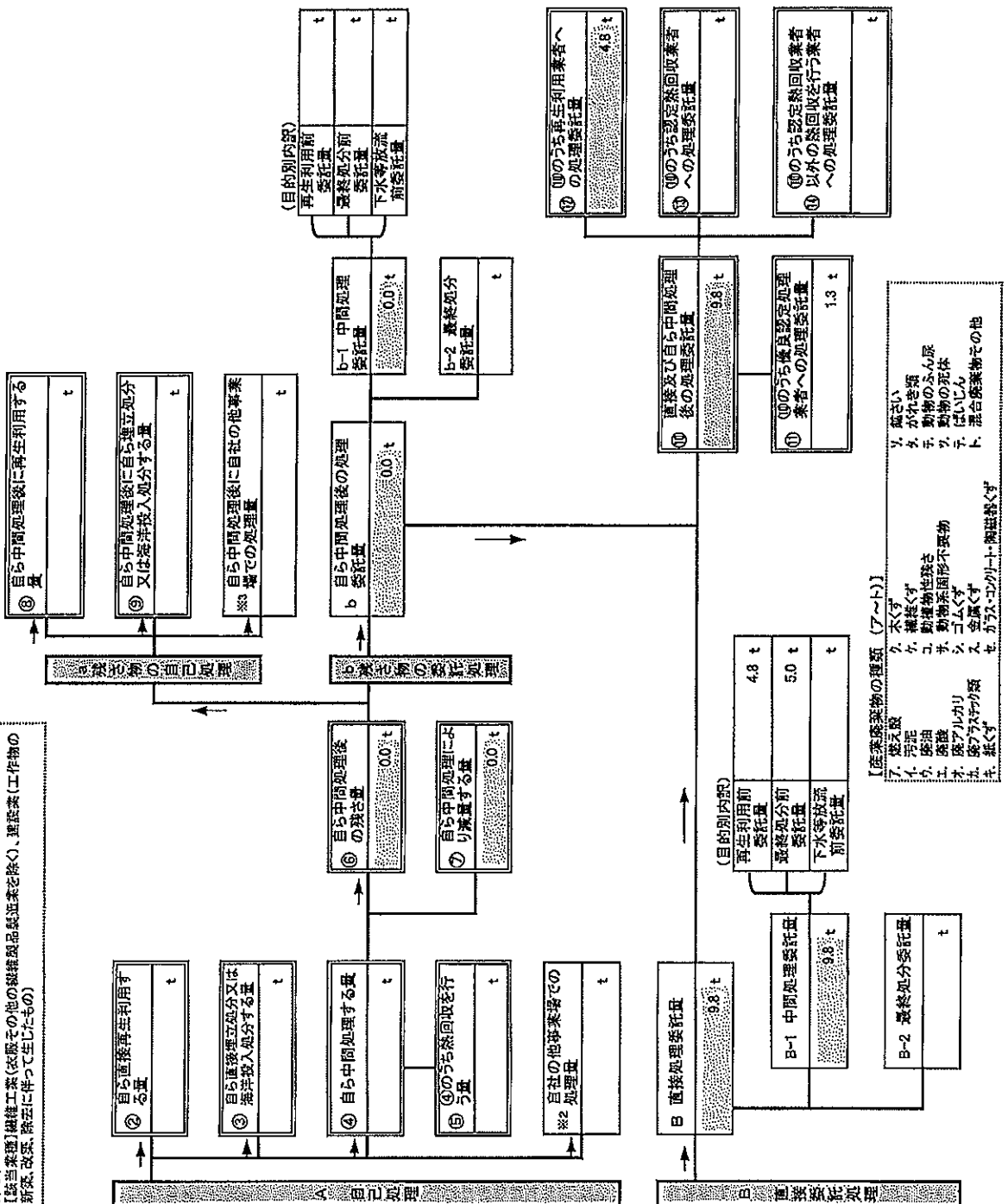
(単位:t/年)



【繊維くず】には染整指定があり、該当品以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
 【該当事業場】繊維工業(衣服その他の繊維製品製造業を除く)、製薬業(工作物の新製、改良、修繕に伴って生じたもの)

2-2	法定	自主
	0	

事業場名称: 東京不動産株式会社 新築工事のりきり事業本部 戸建C 神奈川エリア



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をおわせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	10.9 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は焼却投入処分を行った量	10.9 t
⑩ 全処理委託量	1.4 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	4.9 t
⑩ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑩ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 溶剤
- イ. 廃油
- ウ. 廃アルカリ
- エ. 廃プラスチック類
- オ. 繊維くず
- カ. 金属くず
- キ. 石膏
- ク. 木材くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動物性残渣
- サ. 動物系固形不燃物
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 紙くず
- タ. 繊維くず
- チ. 動物のふん尿
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

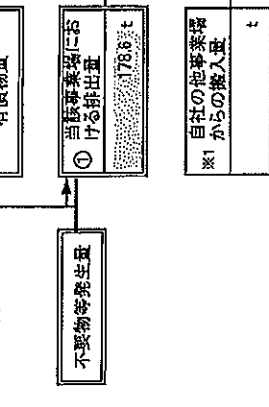
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

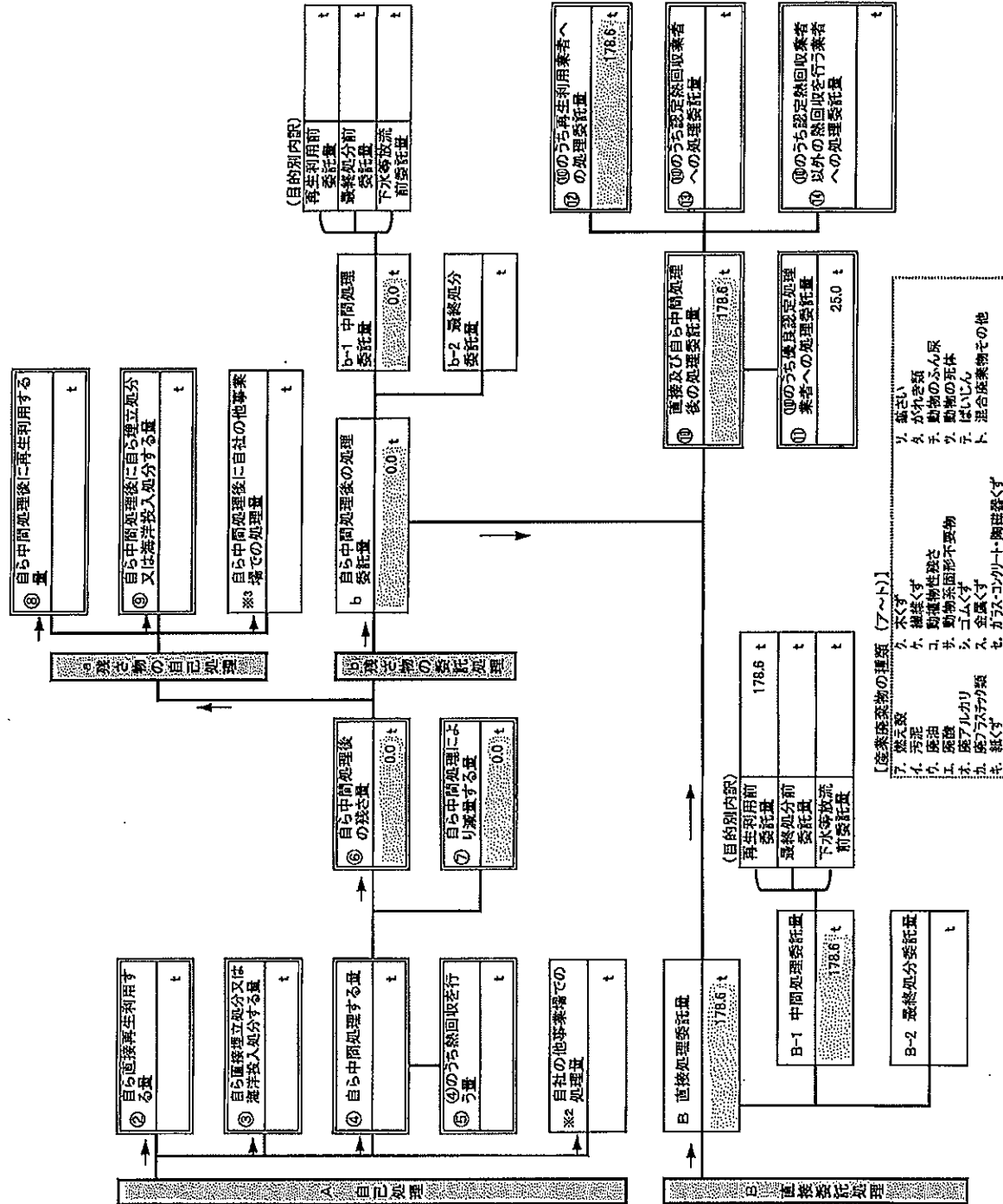
(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載していません。下の表には、令和4年度実績を記載してあります。なお、様式3を合わせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	198.4 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑨ 全処理委託量	198.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	27.8 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	198.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称 : 住友不動産株式会社 新築づくり部の事業本部 戸建て 神奈川エリア



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】  
 ア. 焼戻灰  
 イ. 汚泥  
 ウ. 汚油  
 エ. 廃油  
 オ. 廃アルカリ  
 カ. 廃プラスチック類  
 キ. 紙くず  
 ク. 繊維くず  
 コ. 動植物性残渣  
 サ. 動物の死体  
 シ. 動物の死体ばいじん  
 ス. 金属くず  
 セ. カラス・コウライト・胸皿くず  
 ソ. 雑土  
 タ. 雑草類  
 チ. 動物のふん尿  
 ツ. 動物の死体  
 テ. ばいじん  
 ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

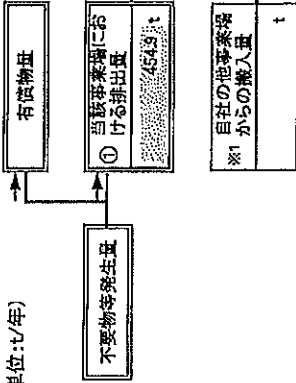
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業 七、ガラス・コンクリート・陶磁器く  
産廃棄物の種類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の紙版となり、異なる廃  
棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

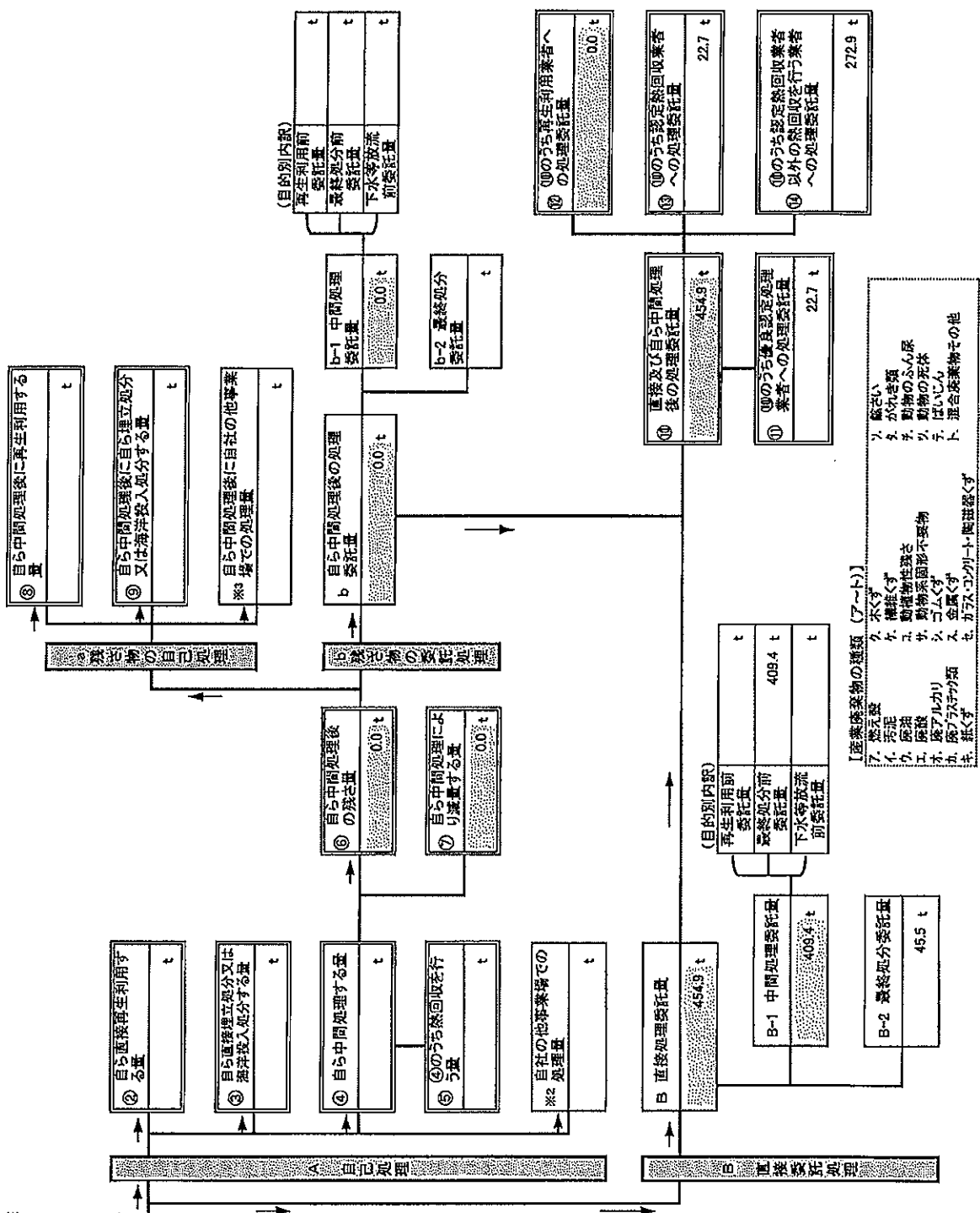


注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載し  
てください。下の表には、令和4年度実績を記載して  
ください。なお、様式3をおわけて提出する場合は、  
は、先に様式3を記入の上、データ反映・印刷ツールを  
使用することにより、数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	505.4 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
④ 自ら燃回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により処理した量	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	505.4 t
⑪ 属員認定処理業者への処理委託量	25.3 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	25.3 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	313.3 t

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称: 株式会社 新築つくりびり事業本部 戸田工場 神奈川エリア



- 【産業廃棄物の種類 (ア-ト)】
- ア. 燃や殻
  - イ. 灰泥
  - ウ. 廃油
  - エ. 廃酸
  - オ. アルカリ
  - カ. 廃プラスチック類
  - キ. 紙くず
  - ク. 木くず
  - ケ. 繊維くず
  - コ. 動物性油脂
  - サ. 動物性骨髄
  - シ. 動物の死体
  - ス. はいじん
  - セ. 混合廃棄物その他



産業廃棄物処理計画書

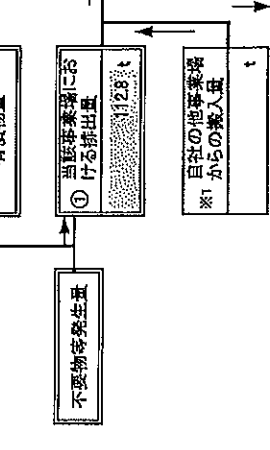
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類  
ト、混合廃棄物その他

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる種類の廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

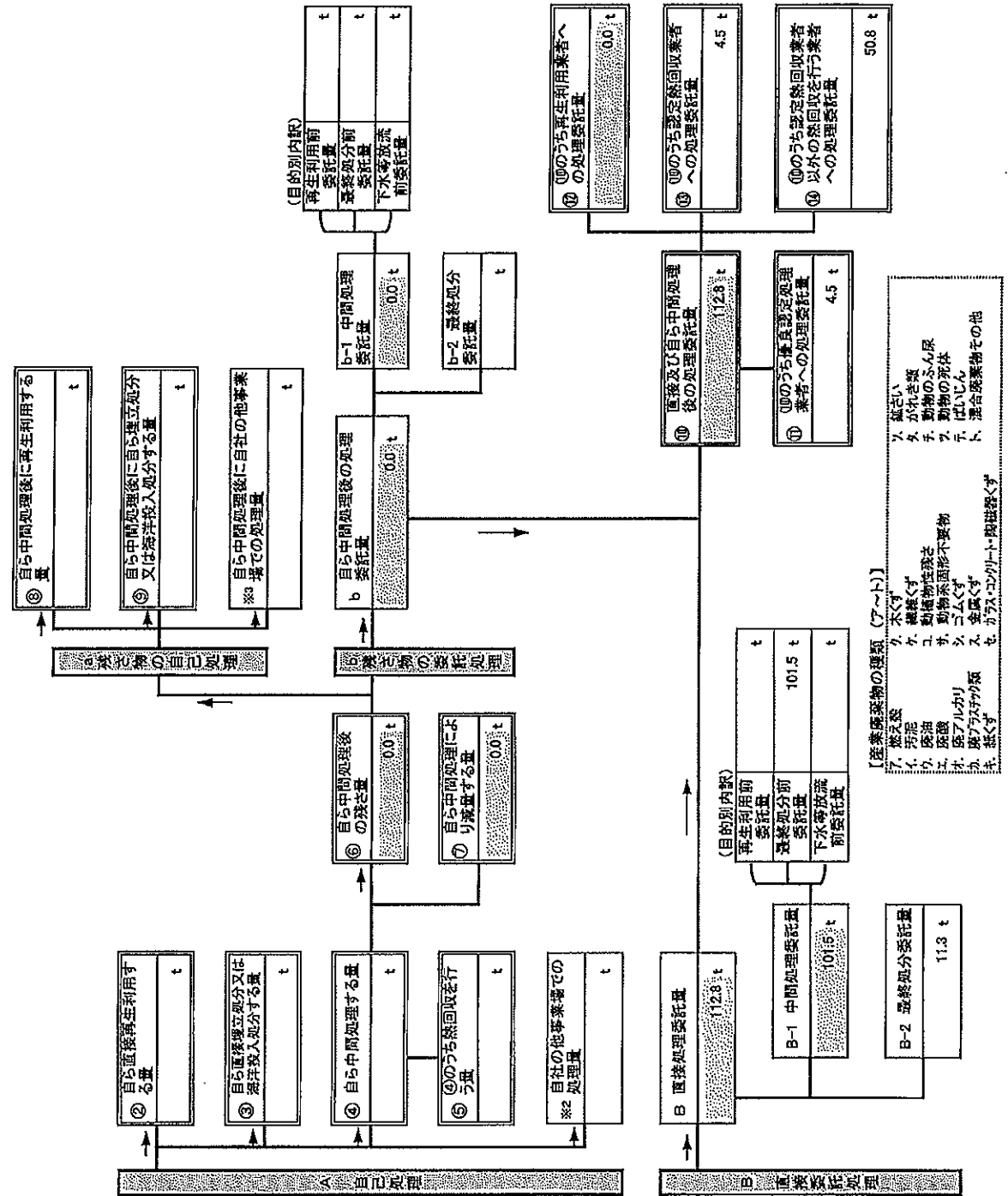
(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式をおわせて提出する場合は、先に様式3を入力し、データ区別・印刷ツールを使用することおに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	125.3 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により処理した量	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	125.3 t
⑩ 全処理委託量	6.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	6.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	17.5 t

事業場名称: 生及不動産株式会社 新築そっくりな事業本部 戸建て 神奈川エリア



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃やさない
  - イ 灰
  - ウ 汚泥
  - エ 廃油
  - オ アルカリ
  - カ 酸
  - ク 塩酸
  - ク 塩酸
  - ケ 有機溶剤
  - コ 有機溶剤
  - サ 動物糞尿
  - シ 動物糞尿
  - ス 金属くず
  - セ 金属くず
  - ソ 金属くず
  - タ 混合廃棄物
  - チ 混合廃棄物
  - テ 混合廃棄物
  - ト 混合廃棄物

